

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	5-7																															
PDCA	主要事業名	はんだまちづくりひろば運営事業	部課名	企画部市民協働課	担当	青木																																
					内線	32-3430																																
P	総合計画： 5 - 1 - 3 単位施策： 市民活動 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 505 千円																																					
	会計		一般会計		歳出科目： 02.01.11.03.03																																	
	事業概要等	事業概要： 協働のまちづくりを推進するため、市民活動・ボランティア活動を行う団体等の相談事業、各種活動支援講座の開催、活動環境及び交流の場の提供、情報の収集・提供等を行い、団体活動の支援を行う。																																				
		事業目的： 市民活動や地域で活動を行う団体等からの相談対応やニーズに合った講座の開催、活動環境と交流の場及び情報の提供を行い、その活動を支援する。																																				
		事業内容： 市民活動等の拠点として「はんだまちづくりひろば」を運営し、活動環境の提供や情報の発信、団体支援講座の開催、新たに団体PRや資金調達のメニューを設けるなど、市民活動団体の活動支援を実施する。																																				
		問題点・課題等： 活動団体が自発的、自立的、持続的に活動していけるよう、支援方法や時代にあった中間支援のあり方を随時調査・研究していく。																																				
	予算額	主要事業とする理由																																				
	505 千円	市民活動団体の活動を持続的に支援し、より市民活動が拡充するために重要な事業であるため。																																				
	財源内訳	得られる成果																																				
	市費	市民活動団体が自立的に活動できるようになることで、持続的な市民活動となり、地域の活性化や新たな地域課題へのチャレンジが期待できる。																																				
253 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民活動団体による活動ルーム稼働率</td> <td>実績値 43.2</td> <td>47.1</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値 —</td> <td>—</td> <td>50.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	市民活動団体による活動ルーム稼働率	実績値 43.2	47.1	—	%	目標値 —	—	50.0	%		実績値				目標値				その他	実績値				目標値			
目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																		
市民活動団体による活動ルーム稼働率	実績値 43.2	47.1	—	%																																		
	目標値 —	—	50.0	%																																		
	実績値																																					
	目標値																																					
その他	実績値																																					
	目標値																																					
252 千円																																						
国費																																						
0 千円																																						
県費																																						
0 千円																																						
その他																																						
0 千円																																						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																				
	484 千円	市民が市民活動団体の活動を知り活動に参加する機会を創出する取組として、また市民活動団体の活動資金調達にもつながる取組として、新たにカプセルトイの貸出による団体活動支援を行った。スキルのある団体が他団体向けに行う協働タイプのSNS講座や動画作成講座などのメニューを新たに提供し、団体の情報発信力向上につなげるとともに、団体間のネットワーク作りの場とすることができた。																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民活動団体による活動ルーム稼働率</td> <td>実績値 51.4</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値 50.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	令和5年度	単位	市民活動団体による活動ルーム稼働率	実績値 51.4	%	目標値 50.0	%																							
	成果指標	令和5年度	単位																																			
	市民活動団体による活動ルーム稼働率	実績値 51.4	%																																			
		目標値 50.0	%																																			
C 課題の整理	事業の評価・課題	C カプセルトイの貸出による市民活動団体支援では、市内のイベントでも利活用され、団体活動を多くの市民が知るきっかけとなったほか、団体が持続的・自立的に活動していくための資金源とすることができた。コロナ禍で急激に普及したSNSツールは、活動の情報発信のほか、活動の参加者や団体の担い手獲得にも有効な手段であり、アンケート結果から団体のニーズがあることも把握できた。今後も、時代の流れや団体のニーズに沿った活動支援を行っていくことが課題である。																																				
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 団体による協働タイプの講座を引き続き実施するとともに、情報発信や助成金活用に関する講座などを開催し、市民活動団体の広報力や資金調達能力の向上を図る。また、個々の団体のニーズに即した支援を展開することで、持続的かつ自立的な活動を促進する。																																				
	観点別評価			有効性		効率性																																
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																															
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更																																
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある																																

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用